

## 第 1 回 徳島県人事委員会に対する要望書

- 1 民間賃金実態について精緻に調査を行うとともに、公民較差を精確に把握し、本県教職員の勤務実態を踏まえた教育公務員のあるべき賃金を勧告されたい。

**【回 答】**

民間給与実態の精確な調査に努めるとともに、国及び他の都道府県の動向を注視していきたい。

- 2 55歳超の昇給停止措置を撤廃し、高齢層の給与を改善するとともに、職責に応じた給与体系の構築を図られたい。

**【回 答】**

民間給与実態の精確な調査に努めるとともに、国及び他の都道府県の動向を注視していきたい。

- 3 高齢期の働き方に関しては、雇用と年金の接続を踏まえ、県教委に対し継続した雇用制度改善を行うよう働きかけられるとともに、賃金水準を改善されたい。

**【回 答】**

国及び他の都道府県の動向を注視しながら、任命権者と意見交換し適切に対応したい。賃金水準については、民間給与実態の精確な調査に努めるとともに、国及び他の都道府県の動向を注視していきたい。

- 4 定年延長については、教育現場の実態に即し、かつ、教職員が不利益を被ることのない制度の設計を図られたい。

**【回 答】**

国及び他の都道府県の動向を注視していきたい。

- 5 一時金については、教職員の生活を守るため、支給月数の改善を図られたい。

**【回 答】**

民間給与実態の精確な調査に努めている。

- 6 人材確保の観点と教育職の職務の重要性の観点から、義務教育等教員特別手当の水準を改善されたい。

**【回 答】**

他の都道府県の動向を注視していきたい。

- 7 教職調整額については、時間外勤務が漸増していること等を踏まえ、支給率を改善されたい。また、特別支援学校調整数においても改善を図られたい。

**【回 答】**

教職調整額については、国の検討の動向を注視していきたい。  
特別支援学校調整数については、他の都道府県の動向を注視していきたい。

8 部活動指導手当など教職員特有の手当において改善を図られたい。

【回 答】

他の都道府県の動向を注視していきたい。

9 通勤手当について、教職員の職務と責任の特殊性、交通機関が発達していない徳島県の実情を考慮した改善を図られたい。

【回 答】

国及び他の都道府県の動向を注視していきたい。

10 臨時的任用職員・皆生年度任用職員について、処遇の改善を図られたい。

【回 答】

国及び他の都道府県の動向を注視していきたい。

11 過疎地域における教育の充実を図るため、へき地手当の支給率を維持されたい。

【回 答】

他の都道府県の動向を注視していきたい。

12 教職員における総実勤務時間の短縮を早期に図られたい。とりわけ、教育委員会に対し、業務量の増加に伴う弾力的な人員配置などの超過勤務縮減対策を一層推進するよう働きかけられたい。

【回 答】

総実勤務時間の短縮が図られるよう努めたい。

13 1日あたり7時間45分(1週間あたり38時間45分)勤務が、教職員の勤務条件として不利益とならないよう、改善に努められたい。

【回 答】

今後とも適切な勤務条件の確保に努めたい。

14 仕事と家庭生活の両立支援策として、正規・非正規教職員に関わらず、各種休暇・休業制度の周知徹底と取得しやすい環境整備を図られたい。

【回 答】

国及び他の都道府県の動向を見守っていきたい。

15 徳島県教職員のハラスメントの防止等に関する要綱及び指針を活かし、職場におけるハラスメント防止対策の徹底を図られたい。

【回 答】

あらゆるハラスメントの防止が図られるよう努めたい。